

“すこやか敦賀っ子” 家庭学習ガイド



中学生用

中学校

氏名

敦賀市教育委員会

授業と家庭学習で確かな学力を

「すこやか敦賀っ子」家庭学習ガイド」発刊に際して

平成24年度から市内全小中学校において「敦賀スタンダードカリキュラム」に基づく授業が行われています。そのねらいは、敦賀を愛し、確かな学力を持った敦賀っ子の育成です。そのために、現在、各小中学校で授業の改善・充実に取り組んでいます。そして、もう一つ大切な要素は家庭学習の充実です。

この家庭学習ガイドは、子どもたちが家庭で学習する際に、「どのように学習をすればよいのか」という道しるべとなるように、また、家庭学習習慣が定着するように、そして、自主的な家庭学習ができるようにという願いを込めて作成しました。毎日、少しずつでも家庭学習をすることが、やがては、しっかりとした学習習慣、自主的・自発的な学習につながり、高等学校等での学習、さらには生涯学習につながっていきます。それは敦賀っ子の豊かで幸せな未来が拓けることでもあると思います。

ご家庭におかれましては、以下の点もご理解の上、このガイドをお子様の家庭学習支援のご参考にいただければありがたいと思います。



1 学習のしかたの道しるべとして……………

宿題はともかく、「自主学習ってどんなことをすればいいの?」という子どもたちも少なくありません。このガイドでは、各教科2ページにわたり、自主学習のしかたを紹介しています。左のページは基礎編、右のページは発展編となっており、基礎編はその教科を苦手としている人、発展編はその教科を得意としている人に向けた内容となっています。これらを参考に学習に取り組み、時々、学習方法が自分に合っているか先生に見てもらうなどして、自分に適した自主学習を身につけることができるようにしてほしいと思います。

2 家庭学習習慣の定着のために……………

子どもたちは、放課後や帰宅後もいろいろな活動に取り組んでおり、なかなか忙しい生活をしています。その中で、毎日決めた時間、家庭学習に向かうことはたいへんなことであり、重要なことです。家庭学習の継続こそ、現在と将来の学力の基礎固めに大いに役立つはずです。各学年の家庭学習時間のめやすを参考に、家庭学習を継続するよう、励ましてあげてください。

3 自主的な家庭学習ができるように……………

小中学校では、宿題が出たり自主学習を提出させたりすることが当たり前ですが、高校になると宿題の他に、自分に必要な学習を自ら探して取り組むことが求められます。また、高校で予習・授業・復習のサイクルをしっかりとやっていけるよう、中学生のうちに習慣化しておく必要があります。そのためにも、小中学校の時から「今必要な学習は何か」「どのように学習するとよいか」を考え、実行する力を少しずつつけていくとよいと思います。

与えられた宿題に取り組むことから始めて、徐々に自主的な学習へ移行する。9年間かけて、子どもたちにその家庭学習力が育つよう、学校と家庭の両サイドから支援していけたらと考えています。

はじめに

●●●●●●●● 中学生のみなさんへ ●●●●●●●●

1 家に帰ったら

ステップ1 …まず、宿題をしよう。

ステップ2 …次に、自主学習（復習やノートづくりなど）をしよう。
— やりかたは、このガイドを参考に —

ステップ3 …最後に、次の日の登校の準備をしよう。

2 学習する時間は

家庭学習時間のめやす……………

1年生	→	90分～120分
2年生	→	120分～150分
3年生	→	150分以上



3 気をつけること

- 部屋の中や机の上などを整頓し、学習しやすくしよう。
- テレビやゲーム、パソコンなどの誘惑に負けないようにしよう。
- 毎日続けて（2時間以上）学習しよう。
- テレビを見ながら…など「ながら」学習をせず、集中して学習しよう。
- 早寝・早起き・しっかり朝食など、規則正しい生活をしよう。

4 このガイドの活用のしかた

- 各教科とも、基礎編と発展編に分かれています。
- 苦手な教科は基礎編を、得意な教科は発展編を参考にするとよいでしょう。
- もちろん、得意な人が基礎編を参考にしながら学習するのもよいでしょう。

保護者の皆様の支援について……………

- 中学生は、義務教育の集大成となる大切な時期です。この中学3年間で、進路の決定はもちろん、お子様に応じた学習スタイルの確立が必要になります。これまでのように、常に寄り添うのではなく、自立させるために、一人で頑張らせる部分と、傍にいて、頑張りを認める部分を取り入れながら、お子様の意欲を高めてあげてください。
- 将来の夢や、なりたい職業についての興味関心が高まる時期です。ご家庭でも、折にふれて、将来のこと進路のことなど、お子様と一緒に話してください。保護者の方が、ご自分の中学校時代を振り返りながら、昔の夢や目標を話されることもお子様には貴重な時間です。

中学生と家庭学習

1 家庭学習は何のためにするのでしょうか。……………

- 一つ目は、実生活で生きる力をつけるためです。

この力をつけるのは、学校での授業が大切であることは間違いありませんが、教室の中だけでなく、学んだことと実生活との結びつきを考えたり、学んだことが日常生活でどう生かされるのかを体験したりするなど、家庭での学習も欠かせません。もちろん、漢字や計算の力、英単語力を身につけるためのドリルも大切です。

- 二つ目は、自ら学ぶ習慣をつけるためです。

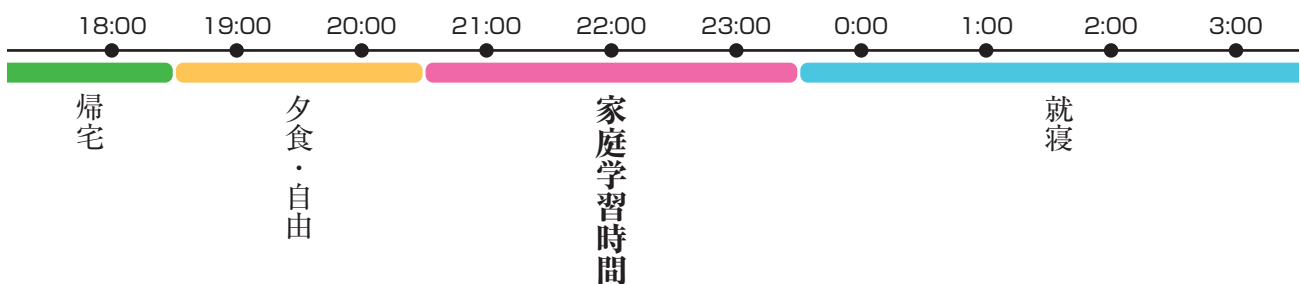
勉強は、最終的には一人でしていくものでしょう。どこかの段階でその姿勢を身につけてはなりません。自ら学習する習慣を育むために、家庭学習は大切です。

2 中学生一日の生活スケジュール……………

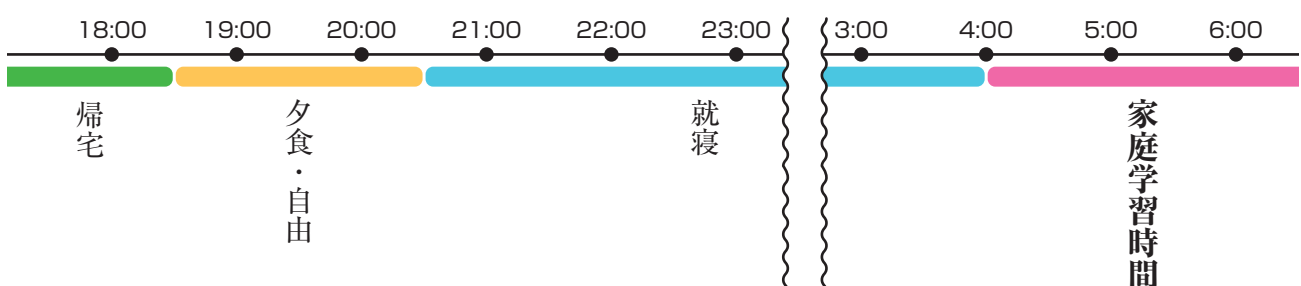
- 部活や補充など、一日の大半を学校で過ごす中学生にとって、家庭に帰ってからの時間の使い方は大変重要です。

統計によると、中学生の宿題以外の平均家庭学習時間が、2004年38.7分であったのに対して、2012年には47.8分とおよそ10分増えております。

〈パターン① 夜型〉



〈パターン② 朝型〉



- 中学生では、一日2時間以上の学習を続けると、その効果が急激に現れるという結果がでています。逆に、ある一定時間に達していなければ、効果は出にくいということです。
- 一方、学習効果は、その集中の度合いによっても違ってきます。就寝時刻や生活時間から考えて、上記のような家庭学習時間のめやすを、参考にしてください。

3 先輩からの声.....

- みなさんの先輩でもある現役の高校生たちは、家庭学習の大切さについて、次のように考えています。



毎日の授業や家庭学習、そして計画を立てて勉強することの大切さを、高校に入ってから、特に感じました。



やっておけばよかったこと

- ・ 自主学習をして毎日2時間勉強する習慣をつけておけばよかった。
- ・ 先生に言われたことをしっかりとやっておけばよかった。
- ・ 黒板を写すだけでなく、先生の発言もメモする癖を身につけておけばよかった。
- ・ 学習する時に、計画を立てながら進めていく習慣をつけておけばよかった。
- ・ 中学校で習うことは確実に身につけておけばよかった。

やっていてよかったこと

- ・ 自主学習ノートをやっていたよかった。
- ・ 自主学習・授業中のノート作りを毎日頑張っていたので、高校に入ってから役に立った。
- ・ 勉強時間を確保出来る習慣がついていたので、高校に入ってから無理をする必要がなくて楽だった。
- ・ 毎日4時間勉強する目標を立てていたのが役に立った。

4 自主学習ノートの進め方について.....

- 本ガイドは、特に自主学習ノートの進め方を考えた構成になっています。
宿題以外の **＋α** として、ノートの活用を考えてみましょう。

手 順

- ①ガイドの中で、実際に学習する教科を選びましょう。
↓
- ②まずは 基礎編 か 発展編 のどちらに力点をおいて学習するのか選択しましょう。
↓
- ③該当教科のページをあけて、学習の進め方・ノート作りの手順・ノート例を参考にしながら、自主学習をすすめていきましょう。
- ④ポイントがたくさん載せられています。参考にしながら自主学習ノートを工夫して完成させていきましょう。
↓
- ⑤ノートは担任の先生や教科担当の先生にみてもらいましょう。
↓
- ⑥これらを毎日続けて学習していくようにしましょう。
↓
- ⑦自分なりのノートを作っていきます。

参考文献

- ・ ベネッセコーポレーション「学力向上のための基本調査2008」
- ・ 「VIEW 21 (小学版) 2010 Vol.4」

URL <http://www.benesse.co.jp>

☆教科書をフル活用し、学びを支える
「ことばの力」を身につけよう！

- ・基礎編では「ことば」の充実を目指します!
- ・発展編では「読解力+表現力」の充実を目指します!

基礎編

○教科書下段「脚注」の語句をノートに整理しよう

- ①＝辞書を使って意味を調べよう
②＝似た意味の語句(類義語)を書こう
③＝短文を作ろう
④＝反対の意味の語句(対義語)を書こう

9/13 (木) 国語「食の世界遺産―饅頭」
 △語句チェック△
 本来―**類** 元来、もともと
 圧倒的―**文** 反対意見が圧倒的に多
 手間暇―**意** 労力と時間
 意味がある―**文** 彼の笑いには何か意味
 みるみる―**類** たちまち 理由―**類** 事
 先達―**意** その方面・分野での先輩
 舌を巻く―**意** ひどく驚き、感心する
 たちどころに―**類** すぐに、すぐさま
 相乗効果―**意** 二つ以上の要因が同時
 もたらす以上の効果な
 がぜん―**類** にわかに、急に
 三種の神器―**意** 三つの貴重な持ち物
 繊細―**意** 感情や感覚が鋭く細かい
 声を大にする―**文** 私の考えを声を大
 取って代わる―**文** 石油に取って代わる工

▼教科書 脚注

19	江	え	コウ
13	即	ソク	
2	殖	ふえる	ふやす
1	梅雨	つゆ	
8	意手間暇		
9	意味がある		
11	みるみる		
15	類理由		

「読むこと」の教材の脚注には、学びたい語句が示されています。

どんどん、辞書を活用しましょう。辞書にマーカーや付箋をつけていくのも効果的ですよ。

○新出漢字一覧[教科書巻末]の漢字をノートに整理しよう

- *画数に気をつけながら、筆順を確認し大きな字で書こう
*訓読みで意味がわかるので一字一字の訓読み注目しよう

- 同＝同音異義語・同訓異字
注＝形が似ている漢字
 (読み方に注意しよう)

さんちき
締(テイ) 15画 糸^へ
しめる 部首(糸)
同 開く 絞る
糸約を締結する
心が引く
締め切る
伸(シン) 7画 イ
のばす 小 何但伸
のべる 部首(イ)

(用創) 新縮 追伸 仲張
伸長は伸はす
記録を伸ばす
手を差し伸べる
図延びる

(用創) 斬 11画 一豆車 斬斬斬
きる ガン
部首(斤)

刀で斬る
世相を斬る
注 暫漸
切る

“用例”は重要です！
テストには“用例”
で、出題されるの
です。

▼教科書 卷末

7画 ㇿ	伸 しん のびる のべる	伸縮 しんしゆく 伸縮性 しんしゆくせい 伸張 しんちやう 伸張力 しんちやうりき 伸張性 しんちやうせい 伸張力 しんちやうりき 伸張性 しんちやうせい	35 締 タイ しめる しめる	さんちぎ
---------	-----------------------	--	-----------------------------	------

- 訓読みは意味をつかむ上で大切です。
- 筆順やとめ・はねもマスターしよう。

○教科書を繰り返し音読しよう

- *読んだ回数とかかった時間を記録しよう



発展編

- 語句に関する学習は〈基礎編〉を参考に取り組もう
- 各教材の末尾にある「課題」をノートにやってみよう

予習

「読み取る」の課題について自分の考えをまとめよう

復習

「考えを深める」の課題について自分の考えをまとめよう

PS2さんちき
課題 読み取る

①前半部分の三吉と親方の関係が表れている描写や会話を採り、人物像を考へる

三吉について
P2923
↓三吉は肝心のことを……
↓三吉は、かきいところがある。大層な奴。
↓三吉は、初めは、初めは、初めは……
↓三吉は、初めは、初めは、初めは……

親方について
P2926
↓三吉は、初めは、初めは、初めは……
↓三吉は、初めは、初めは、初めは……

「考えを深める」問題に取り組み、先生に見てもらいましょう。

課題 考えを深める

①前半部分（P2923～P2926）から、三吉と親方の関係がよく表れている描写や会話を採り、それらの人物像を考へる。人物像を、初めは、初めは、初めは……

②「三吉は、初めは、初めは、初めは……」という三吉の言葉について、三吉の気持ちや考えを考へる。三吉の気持ちや考えは、初めは、初めは、初めは……

PS2さんちき
課題 考えを深める

①三吉は、初めは、初めは、初めは……

②三吉は、初めは、初めは、初めは……

各教材の末尾にある課題のページ▶

- 教科書巻末の「基礎編…◆学びを支える言葉の力」の資料を読んで「練習しよう」の課題に取り組もう

基礎的な言葉の力——整理する力

分類する

①情報を分類する

情報をばらばらと並べただけでは、それをほんとうに生かすことはできない。情報の量が多くなればなるほど、情報を的確に、また深く理解するために、分類することが大切になってくる。

例えば、クラスで、私の将来の希望についてアンケートをとったところ、次のような答えが返ってきたとする。

●野球場手になりたい。
●困っている人のために役立ちたい。
●お父さんの店を継ぎたい。
●海の見える所に住みたい。
●自分の意見をしっかりと持った人になりたい。
●好きな英語を学べる仕事に就きたい。
●大企業で、にぎやかに暮らしたい。
●包容力のある人になりたい。

◀教科書巻末にある「学びを支える言葉の力」

基礎編 P222 分類する

情報を分類する……共通点を持つ、またはグループに分ける

更に調べ考える材料とする……情報

練習しよう

①私の町の良いところ

②緑が多い

③商店街がにぎわっている

④全国でも有名な名産がある

⑤バス路線が多い

⑥市内会話が盛んである

⑦穏やかな気候である

⑧大きな病院がある

⑨貴重な遺産がある



- ノートの前半には、「基礎編」で解説している所を自分でまとめよう。
- 後半では、解説の後にある「練習問題」に取り組もう。

社会

- ・基礎編では「重要語句」がしっかりと身につきます
- ・発展編では「重要語句」どうしのつながりまで分かるようになります
- ・基礎編＋発展編で「社会科が得意教科」になります

基礎編

1 学習の進め方

- ☐教科書の太字で表した「重要語句」や学習した「用語」を覚えよう
- ☐「重要語句」や「用語」の意味や内容をまとめよう

2 ノートづくりの手順

- ① 「重要語句」や授業で学習した「用語」をノートの左側に書き写そう
- ② ①で書いた「重要語句」や「用語」の意味や説明が書かれている部分を教科書から探し線を引こう
- ③ ②で線を引いた部分をノートに「できるだけ短い文」で書き写そう

3 ノート例

歴史



このノートは、テスト前に大活躍! 「一問一答問題」
として片方をかくすと、何度でも覚えるまで使えるよ!!

聖徳太子の政治改革	
重要語句	意味・説明
蘇我氏	推古天皇や聖徳太子と親せきだった豪族。
聖徳太子	聖徳太子と協力し、天皇が中心となる政治制度を整えた。
摂政	推古天皇の摂政になって、蘇我馬子と協力して推古天皇を助けた。
冠位十二階の制度	天皇が女性や子どもなどに置かれる役割。天皇の代理で政治を行う。
十七条の憲法	家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てた。
隋	天皇の命令に従うなど、役人の心構えを示した。
遣隋使	南北朝を統一してできた強大な中国の帝国。
	隋の進んだ制度や文化を取り入れた。小野妹子らが行く。

まずは、教科書を写すことから始めよう!
慣れてきたら、少しずつ短い文章に工夫して
まとめるとグッと実力がアップするよ!

地理



アメリカの産業	
重要語句	意味・説明
適地適作	アメリカの地域で、自然環境に適した農作物を生産すること
企業的な農業	出荷を目的に広大な農場で労働者を雇い、大型機械を使って行う農業。
センターピポッド方式	長さ400mの巨大なスプリンクラーが散水して動くかんがい農業。
バイオテクノロジー	生物の持っている働きを人の生活に役立てる科学技術。

発展編

1 学習の進め方

- ☐教科書の太字で表した「重要語句」や学習した「用語」を関連づけて理解する
- ☐興味を持ったことを、資料集やインターネットなどで進んで調べてみよう

2 ノートづくりの手順

- ① 「重要語句」や授業で学習した「用語」を「年表」や「図」にまとめよう
- ② 資料集やインターネットなどで調べたことも書き加えると、さらに詳しく内容の豊かなノートになるよ

3 ノート例

歴史



【年表づくりのポイント】

- ☐「アジアなど世界とのつながり」を年表に表してみよう。
- ☐日本の歴史を「政治」「経済・文化」に分けてまとめてみよう。
- ☐同じ頃の「福井の歴史」も書いてみよう！

社会 - 聖徳太子の時代 -				
世紀	5	6	7	
東アジアの歴史	中国 南北朝	隋	唐	7世紀のはじめには、唐が中国を統一した。 ↓ 律令などの法津をつくり支配のしくみを整えて国力を高めた。
	朝鮮 高句麗	百済・新羅		
出来事		遣隋使		朝鮮半島では、百済、新羅が勢力を強め、大和政権は半島南部の勢力を失った。
政治	大和政権	聖徳太子の政治 ①十七歳の聖徳太子 ②冠位十二階の制度 ③遣隋使		
経済・社会・文化	須恵器		法隆寺	
福井の歴史		継体天皇		
時代			飛鳥時代	

アメリカの農業を地図でまとめよう！

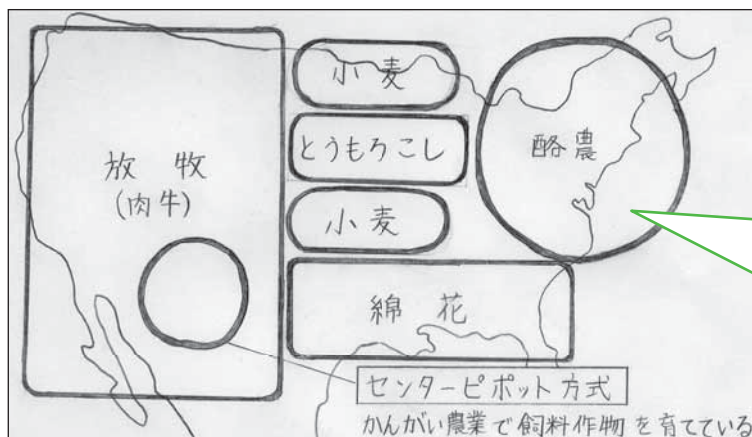
～「適地適作」と「企業的な農業」でガッチリ！～

地理



【白地図まとめのポイント】

- ☐「重要語句」や「用語」を地図上で表してみよう。
- ☐「イラスト」や「表」「グラフ」などを加えると、もっとくわしくなるよ。



数 学

数学が得意になるために

- ・基礎編では「授業の内容」を確実に身につけます
- ・発展編では「数学的な考え方」が育ちます
- ・「基礎編+発展編」であなたの「数学の世界」が、今よりも広がります

基礎編

1 学習の進め方

- 今日の授業をふり返ろう
- 授業の例題を自分の力で解こう
- 自分の力を確かめるために、よく似た問題に挑戦しよう



2 自主学習ノート

ポイント②

今日の学習のめあてを書こう。

移項を使って方程式を解こう

ポイント①

①教科書・授業ノートを開いて、目を通そう。

ポイント③

自主学習ノートを使って、授業で学習した例題をふり返ろう。

<今日のふり返り>

例1)

$$\begin{aligned} 3x + 20 &= 5 \\ 3x &= 5 - 20 \\ 3x &= -15 \\ x &= -5 \end{aligned}$$

例2)

$$\begin{aligned} 8x &= 5x - 21 \\ 8x - 5x &= -21 \\ 3x &= -21 \\ x &= -7 \end{aligned}$$

類題1

(1)

$$\begin{aligned} 5x + 8 &= 23 \\ 5x &= 23 - 8 \\ 5x &= 15 \\ x &= 3 \end{aligned}$$

(2)

$$\begin{aligned} 6x - 5 &= -17 \\ 6x &= -17 + 5 \\ 6x &= -12 \\ x &= -2 \end{aligned}$$

(3)

$$\begin{aligned} -2x + 3 &= 5 \\ -2x &= 5 - 3 \\ -2x &= 2 \\ x &= -4 \end{aligned}$$

(4)

$$\begin{aligned} -4x + 19 &= 11 \\ -4x &= 11 - 19 \\ -4x &= -8 \\ x &= 2 \end{aligned}$$

類題2

(1)

$$\begin{aligned} 10x &= 6x - 8 \\ 10x - 6x &= -8 \\ 4x &= -8 \\ x &= -2 \end{aligned}$$

(2)

$$\begin{aligned} 3x &= 5x - 14 \\ 3x - 5x &= -14 \\ -2x &= -14 \\ x &= 7 \end{aligned}$$

(3)

$$\begin{aligned} 4x &= 50 - 6x \\ 4x + 6x &= 50 \\ 10x &= 50 \\ x &= 5 \end{aligned}$$

(4)

$$\begin{aligned} -8x &= 3 - 5x \\ -8x + 5x &= 3 \\ -3x &= 3 \\ x &= -1 \end{aligned}$$

<再チャレンジ>

1 (3)

$$\begin{aligned} -2x + 3 &= 5 \\ -2x &= 5 - 3 \\ -2x &= 2 \\ x &= -1 \end{aligned}$$

2 (3)

$$\begin{aligned} 4x &= 50 - 6x \\ 4x + 6x &= 50 \\ 10x &= 50 \\ x &= 5 \end{aligned}$$

ポイント⑥

まちがった問題に再チャレンジし、できるようにしよう。

ポイント④

教科書や問題集にある類題に取り組もう。

ポイント⑤

答え合わせは1つずついいに行おう。



ポイント⑦

疑問や解決できなかったことは、次の日に質問しよう。

1 学習の進め方

- 授業のポイントを、もう一度ノートにまとめ直そう
- 発展問題に挑戦しよう
- 次の学習に興味をもち、予習をしよう



2 自主学習ノート

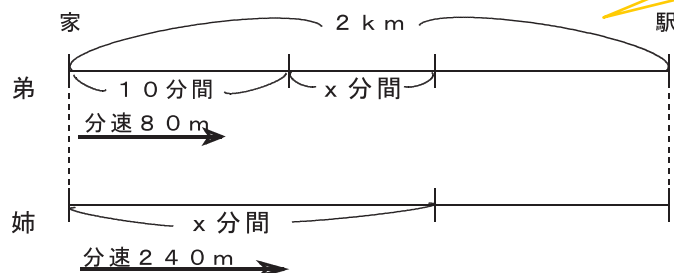
方程式を使って考えよう

ポイント①

今日の学習のめあてを書こう。

問 弟が、2 km 離れた駅に向かって家を出発しました。それから 10 分たつて、姉が弟の忘れ物に気づき、自転車で同じ道を追いかけました。弟は分速 80 m、姉は分速 240 m で進むものとする、姉は出発してから何分後に弟に追いつくでしょうか。

<図にすると・・・>



ポイント②

問題文を図や表、グラフに表そう。

<表にすると・・・>

	分速 (m)	かかった時間 (分)	進んだ道のり (m)
弟	80	$10 + x$	$80(10 + x)$
姉	240	x	$240x$

ポイント③

数学用語の解説や大事な公式などはメモして確認しておこう。

道のり
= 速さ × 時間

(式) 姉が出発してから x 分後に追いつくとする、

$$\begin{aligned} 240x &= 80(10 + x) \\ 3x &= 10 + x \\ 2x &= 10 \\ x &= 5 \end{aligned}$$

分配法則で () を外すより
等式の性質を使って両辺を 80
でわった方が計算が簡単

等式は両辺を同じ数でわっても
成り立つ。

(答え) 5 分後

道のり・速さ・時間の問題は、図から数量関係を表に整理して
考えるとわかりやすい。

ポイント④

問題解決のポイント
をまとめておこう。

<姉が追いついた地点を調べよう>

(式) $240 \times 5 = 1200$ (答え) 家から 1200 m の地点

または・・・ $80 \times (10 + 5)$ でも求められる。

ポイント⑥

別の方法も考えてみよう。

ポイント⑤

自分で課題をつくって取り組もう。

理科

センス・オブ・ワンダー

＝神秘さや不思議さに目を見張る感性

基礎編では「重要語句」を中心に力をつけていきます
発展編では「科学的な思考力」「表現力」が育ちます

基礎編

- 教科書を参考に理科のノートを見直し、書き足りないところは書き加え、書き方の悪いところは直して、きちんと整理しよう
- 観察・実験の方法を、ねらいと関連づけて理解しよう
- 教科書の太文字＝重要語句をしっかりと覚えよう
- 観察・実験の器具や薬品名、注意事項等も覚えよう
- 問題を解こう、書いて覚えよう、できるまで、何度も繰り返して練習しよう
- 学習した内容が、生活の中で活用されているものを見つけよう

1 まとめよう！



重要語句の記入

赤ワインの
混合

**実験器具や実験の
ポイントの記入**

温度を測る

沸騰石
変質を防ぐ

横つきフラスコ

* 注

ガスバーナー使用前は
ガラス管と液体を合わせる。

冷水中で冷やす
↓
条件 → 冷める。

**なぜ必要なのか
その理由の記入**

2 覚えよう！

重要語句のまとめ

① 前線のつくり
② 気団 ... 気温や湿度がほぼ一様な大きな空気のかたまり。
③ 前線面 ... 寒気団（寒）と暖気団（暖）が接する面の境。
④ 前線 ... 前線面 が地表面と交わるところ。（点）

① 気団

② 前線面

③ 前線

④ 寒冷前線

⑤ 温暖前線

⑥ 停滞前線

前線面

温暖前線

① 気団

② 前線面

③ 前線

④ 寒冷前線

⑤ 温暖前線

⑥ 停滞前線

① 気団

② 前線面

③ 前線

④ 寒冷前線

⑤ 温暖前線

⑥ 停滞前線

間違いは、赤で正しく直しをする。

できるまで何度も練習

発展編

○理科ノートをもとに説明を書き足し、オリジナルの分かりやすいノートにまとめ直そう

教科書の大切な図なども書き写し、説明を書き加えよう

○教科書の太文字＝重要語句の説明を書こう

○問題を解こう！ 間違えた問題については、間違えた理由やポイントを書いて、理解を深めよう

○問題を解いたあと、関連する内容を調べてみよう

○理科の学習と日常生活とのつながりを考えよう

○さらに、学習内容に関連した疑問点について調べてみよう

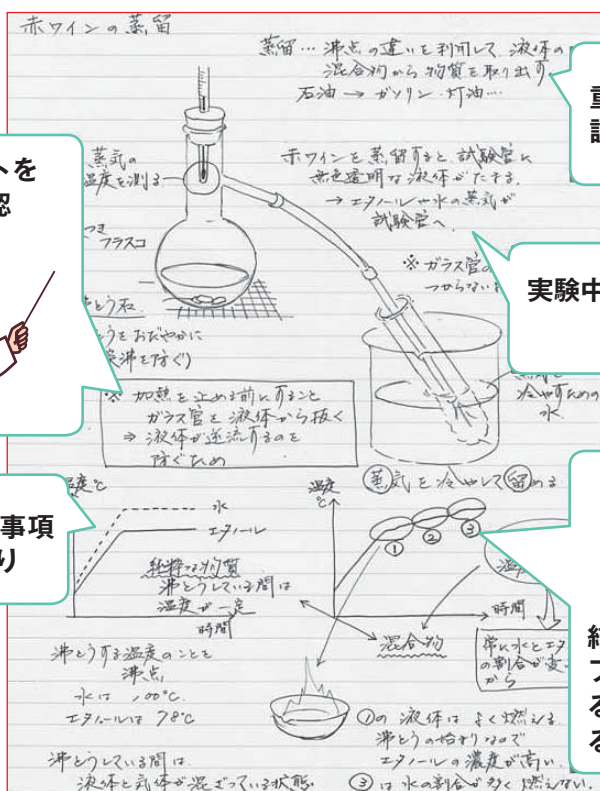
学習内容と関連づけて考えてみよう

1 ノートの質を高めよう！

実験のポイントと理由と共に確認



関連した事項の振り返り



重要語句の説明

実験中の様子



結果を表やグラフにして、わかることをまとめる。

2 習熟の質を高めよう！

正しい解答をしっかりと理解する。

P68 1. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

2. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

3. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

4. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

5. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

6. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

7. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

8. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

9. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

10. ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

なぜ間違えたのか、自分の弱点を克服する。

朝昼夕方夜などが分かる。
地球は1年(12か月)で1回公転するから、1か月で30°移動する。そのため、星座は1か月で30°(1日2度)西に移動する。
→ 星は、東から西にうつっていくように見える!!
→ 真夜中に南中する星座は、太陽の反対側(にある)。
地球の公転によって、見る星座は時計方向にうつりかわる。

英語

基礎編

- ・基礎編では、教科書をしっかり音読することからはじめます「読める」→「書ける」へと力をつけていきます
- ・発展編では、基礎編で身につけた語句や基本文をもとに自分でオリジナル問題を解けるようになります

- ①繰り返し音読しよう
- ②書く練習を繰り返して、粘り強く少しずつ覚えよう
- ③練習問題に取り組み、ていねいに答え合わせをして実力をつけよう

音読

教科書本文をゆっくり



OK

Level 1

教科書本文をすらすら



Good

Level 2

語句

ノートに単語を1行ずつ書く（意味も書く）

book 本 book book book book book book
money お金 money money money money money money
since 〜以来 since since since since since since

Good

Level 1

本文

ノートに教科書本文を書く



OK

Level 1

ノートに教科書本文を書き…

- ①英語の下に日本語を書く
- ②1文ずつ覚えて書く
- ③重要部分に線・印をつけてチェックする

Good

Level 2

スペシャル

ワーク・プリントなどの問題を解いたあとで…

- ①間違えた問題をもう一度ノートにやってみる
- ②疑問に思った部分にふせんをつけて翌日に先生に質問する
- ③自分でオリジナル問題をつくる
(問題をつくることそのものがとてもよい勉強になります)

Good

Level 1

Let's Challenge !

発展編

- ①発音やイントネーションを意識して暗唱できるまで音読しよう
- ②単語や文をテスト形式でチェックしよう
- ③自分だけのオリジナルノートをつくろう

教科書本文を暗唱する

I'll help you.



Great



Level 3

アクションつきで教科書本文を暗唱する

Oh!

Really ?



Super



Level 4

音読

ノートに単語の自己テストをする（間違ったものは直して練習）

① dog	② class	③ musik	④ tennis	⑤ speak
⑥ never	⑦ will	⑧ break	⑨ sinse	

Super



Level 2

語句

日本語を参考に英文を書く

- ①教科書本文の意味を日本語でノートに書く
- ②ノートの日本語を参考に英文を書く
- ③教科書で英文を確認する

Great



Level 3

教科書本文を覚えて

- ①ノートに書く
- ②教科書で英文を確認する



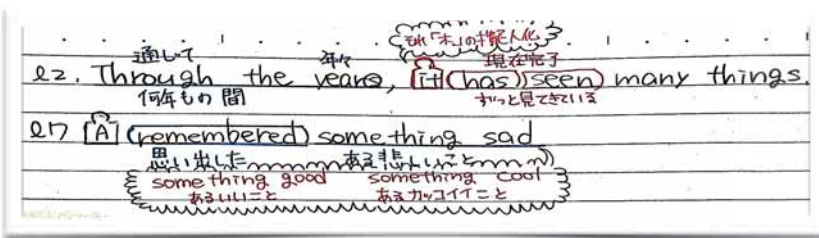
Super



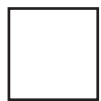
Level 4

本文

授業のノートを自分でまとめ直す



Super



Level 2

スペシャル

